

11/15 38#

旧統一教会「推薦確認書」

稻田氏ら4人にも提示

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関連団体が自民党の一部議員と交わした「推薦確認書」について、稻田朋美元防衛相ら自民党議員4人が文書を提示され、うち1人が署名していたことを新たに実名で認めた。14日、事務所への取材で分かった。

書類を提示されたことを見認めたのは稻田氏のほか、大岡敏孝衆院議員、宮沢博

行衆院議員、深沢陽一衆院議員で、深沢氏は署名も認めだ。時期はいずれも昨年の衆院選前と回答した。

深沢氏の事務所は選挙で受けた支援について「団体信者の方から後援会の入会申込書を受け取った」とし、

政治活動には「影響していない」と答えた。また、署名しなかった理由に關して、

稻田氏側は「政策と異なるため」、大岡氏側は「政治

信条に合わなかつた」、宮沢氏側は「総合的な判断」とした。

推薦確認書は、憲法改正や安全保障体制の強化、同性婚合法化への慎重な対応など、教団側が掲げる政策に賛同するよう求める内容。

推薦確認書を巡っては、これまでに自民党の山田賢司外務副大臣、大串正樹デジタル副大臣、斎藤洋明衆院議員の3人が署名し、井出庸生文部科学副大臣らが

提示されたことを認めていた。